



美東地域の新しい拠点づくりを考える

No.1

市民ワークショップだより

発行:株式会社 龍 環境計画

2020.01.01

美東地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ第1回目を開催しました！



日曜日の午後にもかかわらず、たくさんの市民の方にお集まりいただきました！

美東総合支所と大田公民館と美東図書館を一体的に整備し、新しい拠点をつくる計画づくりがスタートしました。12月15日、第1回目の市民ワークショップを開催しました。市民30名の参加があり、支所職員、計画グループ、総勢40名弱が5つのテーブルに分かれて、意見を出し合いました。人口が減り、子ども達が少なくなっていく中で、安心して暮らしていくために、地域の中心でどんなことが出来たらよいのか、どんな場所があったら良いのか、さまざまな意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。みんなで考え、力を合わせて、自分たちの暮らしに必要な施設のあり方を探り、施設の姿をつくりあげていけたらと思います。次回は、今回出された意見をもとに、施設全体のあり方を考えたいと思います。また、建設場所はどこが最適なのか？についても考えたいと思います。暮らしやすい地域をつくって行くためには、皆さんの知恵と力が必要です。2回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

第1回市民ワークショップ プログラム

- ステップ 1 はじめに
- ステップ 2 市民ワークショップの流れを説明
- ステップ 3 **グループで自己紹介**
ここが美東の良いところを発表
地域のイベントで、感動したことを発表
- ステップ 4 住民ヒアリングのまとめ
について説明
- ステップ 5 **新しくできる地域の拠点が「…だったらいいネ！」について考えよう！**
①こんなことが出来たらいいネ！
②こんな場所があったらいいネ！
③こんな地域の拠点はあ断り！
- ステップ 6 まとめ



みんなで考えた意見を整理しながら、ワークショップを進めました



グループで様々な意見を出しあいました

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

- ◎第1回ワークショップ 12/15(日)
- ・まちの魅力、課題は何？
 - ・こんな複合施設だったらいいな！



◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

- ◎第2回ワークショップ 1/17(金)
- ・こんな使い方ができたらいいな！
建物の機能とつながりを考えよう
 - ・総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう



◎第3回ワークショップ 2/14(金)

- ・建設候補地についてみんなで確認
- ・こんな外部空間がいいな！
- ・既存の建物の解体、跡地利用をみんなで考えよう



◎第4回ワークショップ 4/10(金)

- ・基本計画について説明
- ・パブリックコメントの実施
+住民説明会 5回実施



基本計画のとりまとめ



◎第5回ワークショップ

- ・配置、平面計画をみんなで考えよう
- ・内部と外部空間のイメージを考えよう



◎第6回ワークショップ

- ・平面計画、断面計画をみんなで確認
- ・建物の外観イメージを検討しよう
- ・建物の性能を比較しよう



基本設計のとりまとめ



実施設計

ステップ5の「・・・だったらいいネ！」シートをまとめました

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいか、また「こんな施設はお断り」の3つについてポストイットを使い書き出してくださいました。たくさん出された意見をまとめました。

①こんなことが出来たらいいネ！

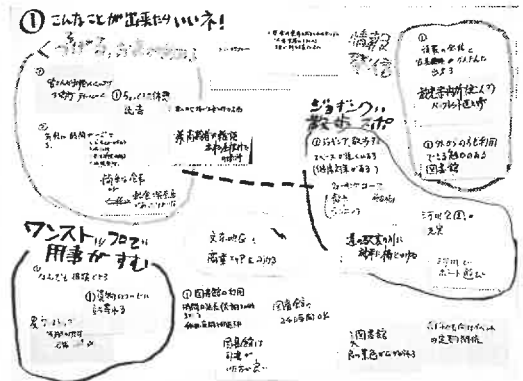
- みんなで集まることが出来る
- 他の地域とつながることが出来る
- ふらっと立ち寄ることが出来る
- さまざまな活動が出来る
- 活動の発表が出来る
- 観光情報を知ることが出来る
- 行ったら、なんでも出来る
- 雨の日でも子どもが遊ぶことが出来る
- バスなどの公共交通機関でも簡単にアクセス出来る



美東の好きな場所やイベントをマップにプロットしながらまちの魅力を再発見しました

②こんな場所があったらいいネ！

- 目的がなくても気楽に立ち寄れるスペース
- フレキシブルなホール(映学会や小コンサート)
- 自由に入出りが出来る調理室
- 入りやすく、ゆっくりできる図書館
- 子ども達がのんびりと本が読める場所
- 子どもたちが遊べる外の広場
- 観光マップや観光ルートなどの案内所
- 支所だけでなく社協などワンストップで用事が済む窓口



新しい地域の拠点が「・・・だったらいいネ！」をポストイットに書き、模造紙に張り付けて、みんなで意見を整理しました

③こんな地域の拠点は断り！

- 入りにくく、暗い、日光が入ってこない建物
- 活気がない、人がいない施設
- フリーなスペースがない、狭すぎる施設
- 災害に弱い、避難所としての機能がないとイヤ
- いつもメンテナンスばかり必要になる建物

第1回 市民ワークショップ 感想カード

- ・ワクワクします。大変ですが楽しみです。多くの人を巻き込んでいい議論を重ねていければいいですね。
- ・色々な意見がありますね。でも、案外共通した思いが多いことに気付きました。結局はハードではなくソフト、人材育成が課題ですね。
- ・30代40代の世代の方をもっと多く参加して頂く努力が必要である。
- ・3人寄れば文殊の知恵といいますが、いいワークショップの企画とします。良いものができそうで期待です。



みんなでまとめた意見をグループごとに市民の方が発表しました

美東地域の新しい拠点づくりを考える 第2回 市民ワークショップを開催します！

日時: 令和2年 1月17日(金) 18:30~

会場: 美東保健福祉センター 大ホール

2回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

事前申込不要
誰でも参加OK！

第2回市民ワークショップの内容

- ・こんな使い方ができたらいいな
建物の機能とつながりを考えよう！！
- ・総合支所、公民館、図書館が複合することで実現できそうなことを考えよう！！

○問い合わせ先

〒754-0291 美祿市美東町大田5936

美祿市美東総合支所 総合窓口課

電話:08396-2-5000 fax:08396-2-5111

メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp

基本計画・基本設計策定業務受託事務所

株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)



秋芳地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ便り

No.1

2019.12.26

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデア出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

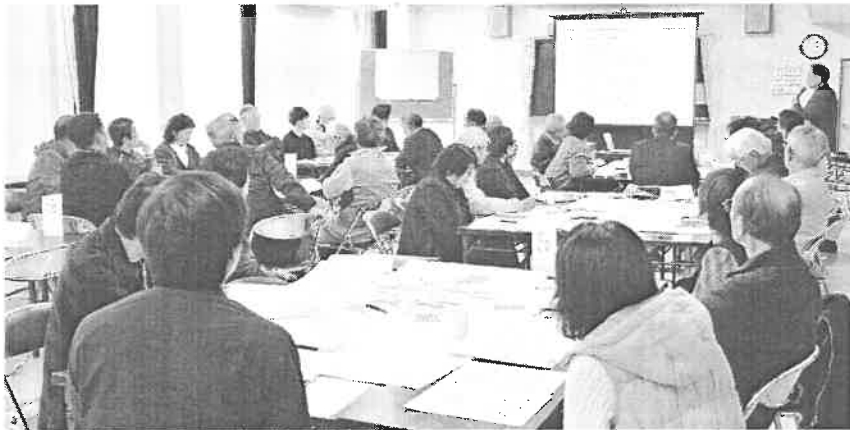
市民ワークショップ第1回目を開催しました！

秋芳総合支所と秋吉公民館と秋芳図書館を一体的に整備し、新しい拠点をつくる計画づくりがスタートしました。

12月14日、第1回目の市民ワークショップを開催しました。市民29名の参加があり、支所職員、計画グループ、総勢40名弱が5つのテーブルに分かれて、意見を出し合いました。

人口が減り、子ども達が少なくなっていく中で、安心して暮らしていくために、どんなことが出来たらよいのか、どんな場所があったら良いのか、さまざまな意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。みんなで考え、力を合わせて、自分たちの暮らしに必要な施設のあり方を探り、施設の姿をつくりあげていけたらと思います。

今回は、今回出された意見をもとに、施設全体のあり方を考えたいと思います。暮らしやすい地域をつくるためには皆さんの知恵と力が必要です。2回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。



多くの市民に参加いただき、新しい拠点について意見を出し合いました！

第1回市民ワークショップ プログラム

- ステップ1 はじめに
- ステップ2 新しい拠点づくりの流れとワークショップの目的を説明
- ステップ3 グループ内で自己紹介+「ここが秋芳のいいところ」
グループ内で自己紹介をし、「ここが秋芳のいいところ」、「秋芳地域での出来事などで感動したこと」などを語り合い、地図上にまとめました。
- ステップ4 住民ヒアリングのまとめについて説明
- ステップ5 新しくできる拠点が「…だったらいいネ！」
新しくできる拠点が「…だったらいいネ！」、「こんな拠点はお断り！」についてグループで話し合い、意見をまとめて発表しました。
- ステップ6 まとめ



ステップ3の作業風景。各グループで、秋芳のいいところや、感動したことなどを語り合い、地図上にまとめました。



秋吉台、秋芳洞、山焼き、花火大会、秋芳運動会、岩永大行司、弁天池、白糸の滝、日峯川、青景のホテル、自然がきれいで、人情がある、など、様々な良いところ、感動した出来事が語られました。

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/14(土)

- ・秋芳地域の魅力と抱える課題
- ・こんな複合施設だったらいいな！



◎秋芳中学校ワークショップ 1/17(金)

◎第2回ワークショップ 1/18(土)

- ・建設場所について
- ・総合支所のつくり方
- ・公民館のつくり方
- ・図書館のつくり方



◎第3回ワークショップ 2/15(土)

- ・総合支所、公民館、図書館が複合する魅力のつくり方
- ・外部空間のつくり方
- ・解体跡地の利用方法



◎第4回ワークショップ 4/11(土)

- ・基本計画について説明
- ・パブリックコメントの実施
+住民説明会 5回実施



基本計画のとりまとめ



◎第5回ワークショップ

- ・配置、平面計画をみんなで考えよう
- ・内部と外部空間のイメージを考えよう



◎第6回ワークショップ

- ・平面計画、断面計画をみんなで確認
- ・建物の外観イメージを検討しよう
- ・建物の性能を比較しよう



基本設計のとりまとめ



実施設計

新しい拠点が「…だったらいいネ！」について、各グループで挙がった意見を整理してまとめました！！

各グループで挙がった「こんなことが出来たらいいネ！」「こんな場所があったらいいネ！」についての意見を計画グループが持ち帰り、整理してまとめました。

1. みんなが気軽に集まれて、家のようにくつろげる団らんの場所
2. 練習や発表の場(ギャラリー、ステージ)があって、活動が展開できる
3. イベントやスポーツにも使える、多目的で柔軟なスペース
4. 子どもを遊ばせるスペースや、一時預かりの仕組みがあって、子育て世代も気楽に立ち寄れる
5. 支所+お店や銀行など、ここに来れば一度に色んな用事が済む場所
6. 地域の情報を発信して、地元の人でも外から来た人も一緒に楽しめる
7. 公共交通が集まる、地域の交通の拠点

そのほかのいろいろな「…だったらいいネ！」で出た意見

- お茶や軽食ができる場所
- ゆったりした駐車場
- バリアフリー
- 平屋の建物
- 木の温もりを感じられる
- 利用のルールが堅苦しくない
- 分かりやすい案内 等

「こんな地域の拠点はお断り！」で挙がった意見

- ×入りにくい、集まりにくいところ
- ×暗い雰囲気
- ×一部の人のための施設
- ×維持費がかかりすぎる
- ×地域の雰囲気に合わない
- ×災害に耐えられない 等



参加者の皆さんは、各グループの発表に耳を傾けて聞いていました



各グループから、多くの自由な発想の意見が出ました

参加して下さった方の感想カードの中から、一部を紹介します。

- いろいろな人の視点での意見を聞いて、自分と違ったり、自分が思いつかないことがたくさんありました。こうやって多くの意見が出れば、どんどん良くなって素晴らしいものができると思います。
- 活気のある意見がたくさん出ました。現実離れしたものも多々ありましたが、夢を語るってすばらしいと感じました。もっと20代30代の出席があれば良いと思いました。
- 自分は行けないから代わりに行ってもらえないと言われて参加しましたが、住民が主体的に考えてまちづくりに参加できるという良い機会に出会えて良かったと思います。もっと広く参加をうながすような取り組みが必要では？参加すれば参加してよかったと思う人が私のように多いと思います。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える

第2回市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 1月18日(土) 14:00~16:30

会場：秋吉公民館 大会議室

事前申込不要
誰でも参加OK！

2回目からの参加も大歓迎！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第2回市民ワークショップの内容

- ・建設場所について
- ・総合支所、公民館、図書館の作り方について

○問い合わせ先

〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1
美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
電話:0837-62-1910 fax:0837-62-1828
メール:s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 環環境計画(03-3383-8673)

市民WS発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課



参加者が増え、議論が大いに盛り上がりました！

第2回ワークショップは、参加者が前回より大幅に増え、議論が大いに盛り上がりました。

まず、市民ヒアリングや第1回ワークショップの成果を基にして、美東地域の新しい拠点が備えるべき要素等について計画チームが整理したものを説明しました。その上で、それぞれに必要な場所や空間について抜けているものがないかなど、グループ毎に確認しました。

次のステップでは、色紙の大・中・小の円で示した必要な空間を、はさみで切り取り、相互の関係を考えながら計画図をつくりました。計画内容を示すキャッチコピー等をつけて全体で発表し、会場は大いに盛り上がりました。

また、建設位置についても、基本構想段階から候補地が1つ増え、現実的な条件を整理し、最適な場所について議論しました。早く確定させることが必要だとの意見が多く出されました。

今回は、今回のワークショップで皆さんに考えて頂いた空間の関係図を、具体的な空間に置き換えて行くとても面白い段階です。皆さんで知恵を絞りましょう！

3回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。



初参加の方も多く、議論が大いに盛り上がりました

第2回市民ワークショップ プログラム

ステップ1 はじめに

ステップ2 第2回市民ワークショップの流れを説明

ステップ3 第1回ワークショップを振り返りました

ステップ4 第1回ワークショップの成果を基に「新しい地域の拠点が備えるべき基本要素」を確認
第1回ワークショップで出された意見、ヒアリングで出された意見などを整理して、施設づくりの目標と備えるべき4つの要素、目標を実現するために必要な機能、必要な場所・空間にまとめたものを確認しました。

ステップ5 必要な場所・空間について相互の関係を考え、「空間の関係図」をつくっていきましょう！
・建設候補地について話し合いましょう
・必要な場所・空間の相互の関係を考えながらみんなで話し合いながら「空間の関係図」をつくりました。

ステップ6 まとめ



みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)

- ・まちの魅力、課題は何？
- ・こんな複合施設だったらいいな！



現在
まとめ中

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)

- ・こんな使い方ができたらいいな！
建物の機能とつながりを考えよう
- ・総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう



◎第3回ワークショップ 2/14(金)

- ・計画案の比較検討
- ・建設候補地の比較検討

次回
開催



◎第4回ワークショップ 4/10(金)

- ・基本計画について説明
- ・パブリックコメントの実施
- ・住民説明会 5回(予定)実施



基本計画のとりまとめ



◎第5回ワークショップ

- ・配置、平面計画をみんなで考えよう
- ・内部と外部空間のイメージを考えよう



◎第6回ワークショップ

- ・平面計画、断面計画をみんなで確認
- ・建物の外観イメージを検討しよう
- ・建物の性能を比較しよう



基本設計のとりまとめ



実施設計

第1回市民ワークショップ、市民ヒアリングで出された意見のまとめについて説明しました

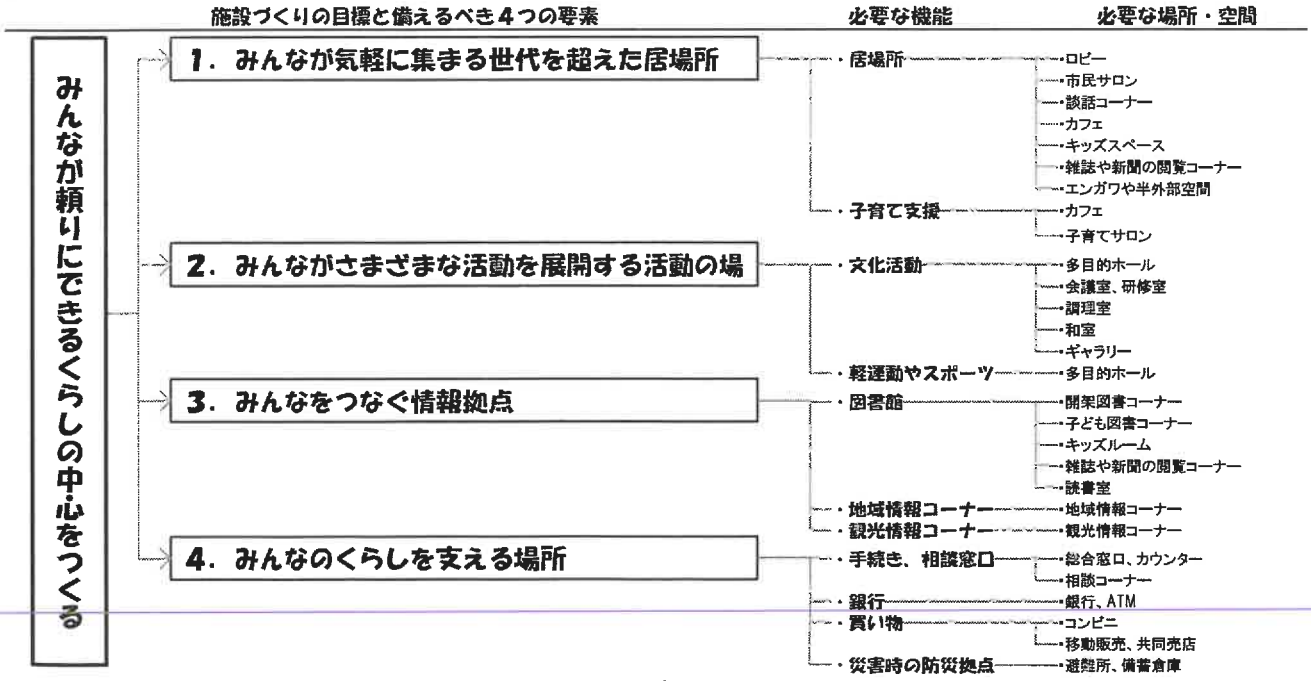
ワークショップで挙げた、新しい地域の拠点が「…だったらいいな！」についての意見

「…だったらいいな！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標



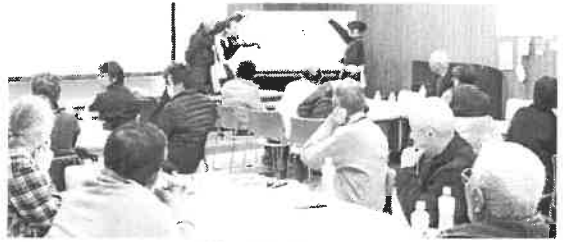
新しい地域の拠点到備えるべき基本要素について、まとめた内容を確認しました

第1回市民ワークショップや、個別ヒアリングの中で出された意見を、計画チームが整理して、施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素、目標を実現するために必要な機能、そのために必要な場所・空間にまとめました。その内容を、第2回市民ワークショップの中で、みんなで確認しました。



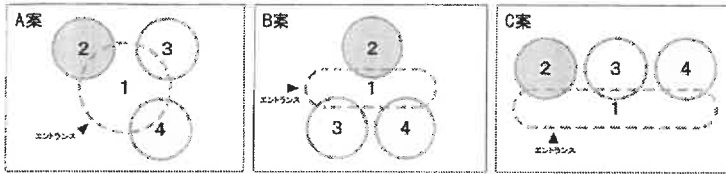
必要な場所・空間について相互の関係を考え「空間の関係図」をつくりました

- 1) 4つの要素のつながり方について、大きく3つのタイプを用意しました。各グループで検討し、そのタイプの中からひとつを選んでもらいました。※例以外のタイプも可
- 2) 色紙の中の必要だと思う空間要素を切り取り、入口の位置を決め、空間要素相互の関係を考えながら貼付けてもらいました。※必要な場所・空間要素がない場合は書き加えても良い
- 4) ロビー等の共有空間については、マジックで書き加えて、「空間の関係図」をつくりました。
- 5) グループで考えた「空間の関係図」に特徴を示すタイトルをつけ、全体に発表しました。



グループ毎に考えた「空間の関係図」を発表しました

空間の関係図の例



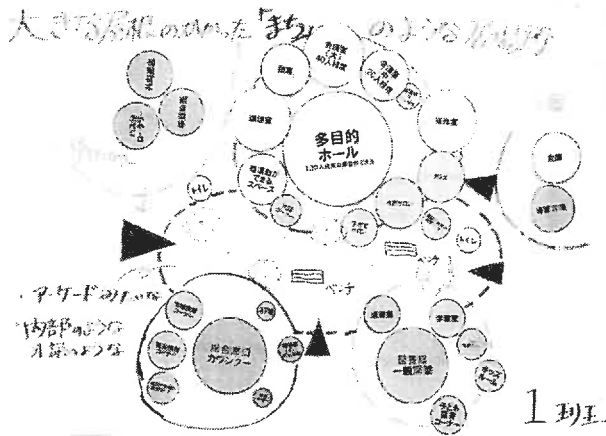
凡例

1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所
2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場
3. みんなをつなぐ情報拠点
4. みんなの暮らしを支える場所

各グループでつくった「空間の関係図」を紹介します

グループ1

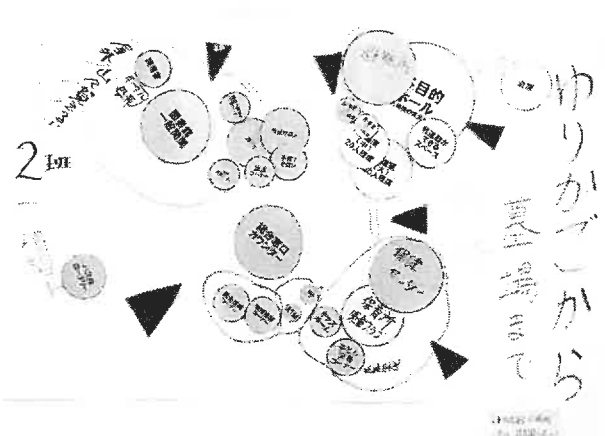
大きな屋根のかかった「まち」のような居場所



- ・ 中通りを大きな屋根のかかったアーケードのように
- ・ 役場、多目的ホール（公民館）、図書館を配置して、中通りでみんなが交流できたらいいな
- ・ 中通りへは、自由に出入りができる

グループ2

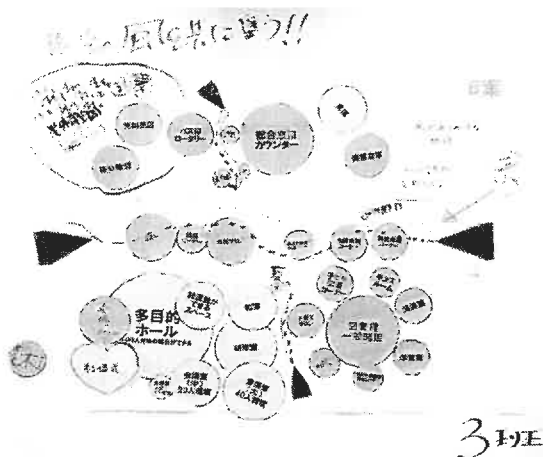
ゆりかごから墓場まで



- ・ 大田中央バス停付近を建設場所とすることを想定
- ・ 保健センターを見守りクラブ等の教育関係に
- ・ 美東センターを使いながら、足りないものを補完

グループ3

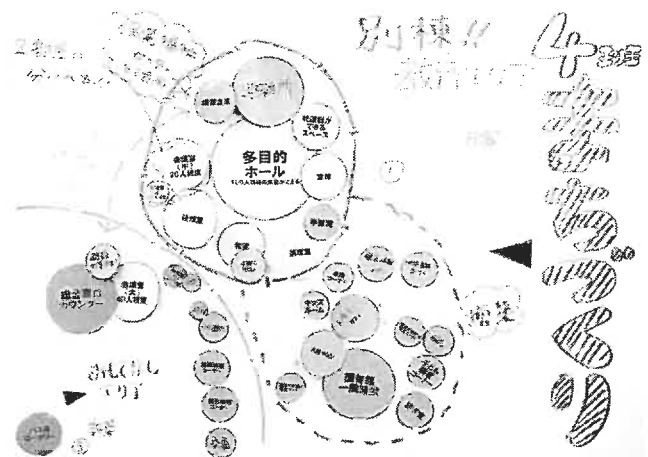
光と風と共に集う！！



- ・ よく光が入るように、よく風が抜けけるようにつくったらどうか
- ・ 両サイドを挟むように機能を配置
- ・ 真ん中を突き抜けられるようにし、どこかを通らないと目的の場所に行けないではなく、共有スペースを介する

グループ4

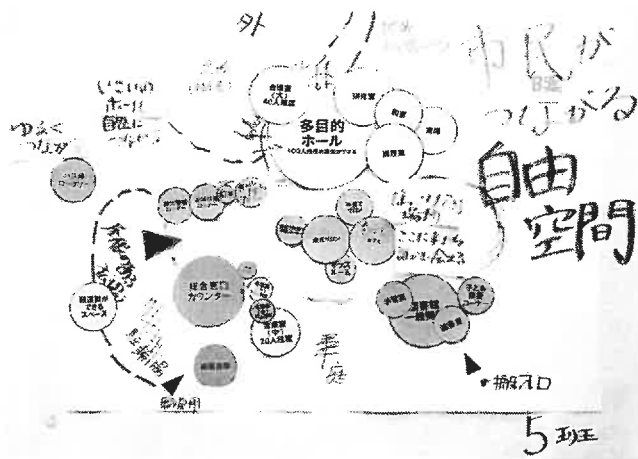
「おもてなしエリア」と「教育エリア」でまちづくり



- ・ まちづくりを大きなテーマに分割案でまとめた
- ・ (保健福祉センター付近)を教育エリア、現在の保健センターを利用して公民館として活用し、増築で図書館を整備する
- ・ (大田中央バス停付近)をおもてなしエリア、美東町の顔として行政機能を整備

グループ5

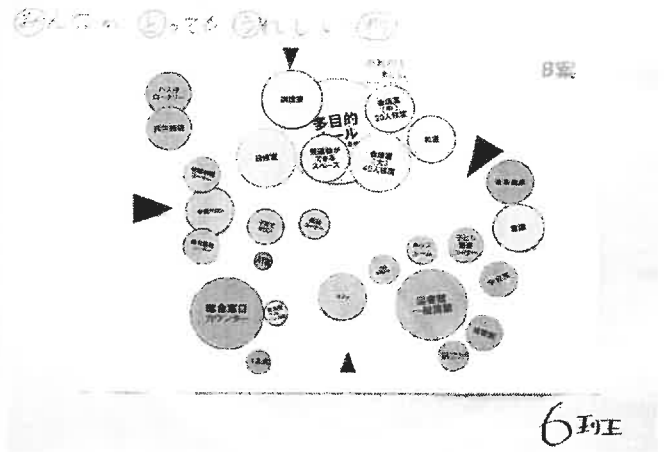
市民がつながる自由空間



- ・市民がつながる自由空間をテーマに
- ・いろいろな目的で利用する人たちとホールで出会う
- ・ここにきたらほっこりできる場所になればいいな

グループ6

みんなが、とっても、うれしい、町



- ・みんながとつてもうれしい町、美東町
- ・一箇所に、支所、公民館、図書館をまとめて、みんなが気軽に来れるようにした

建設候補地について、意見を交わしました！

建設候補地について、概略説明を市役所より行いました。建設候補地は「敷地①保健福祉センター付近」と「敷地②道の駅周辺」の2カ所としていましたが、「敷地②」については、民間事業者の進出が見込まれ、新しい総合支所の建設が困難となる可能性が出たため、「敷地③大田中央バス停付近」を新たな候補地として加え、建設場所の検討を行うことになりました。それぞれの候補地について、利点・欠点をまとめたものを基に意見を交わしました。次回のワークショップで更に、詳細に比較検討を行い、最適な建設場所について方向性を決定したいと考えています。

建設候補地の比較検討

	1.美東保健福祉センター付近	2.道の駅みちのくに周辺	3.大田中央バス停付近
交通アクセス	バス、徒歩	バス、徒歩	バス、徒歩
周辺環境	商業施設、住宅	商業施設、住宅	商業施設、住宅
建設コスト	低	中	高
住民への影響	低	中	高
その他			

第2回 市民ワークショップ 感想カード

- 今日のワークショップで意見がたくさん出てとっても良かったです。1つのテーマが人それぞれで意見がありました。第1回目と今日の2回がすごく良い時間でした。3回目をもっとたくさんの人と良い意見が出るように協力したいです。(E.U)
- 空間関係図を楽しく作りました。コンセプトが決まれば、おのずと決まってくると思います。ただ運用する人材やノウハウの方が重要になってくると思います。(H.K)
- 建設場所をそろそろ絞って協議しないと具体的な提案ができないのでは。併せて予算についても提案して頂きたい。(I.K)

- 少しくらい考えが違っても美東のこれからを真剣に考えているという点ではグループ全員が一緒でした。心強く感じました。地に足のついた本当に地域の力になる場所を生み出していけるとと思います。(S.T)
- 初めて参加しましたが、1回目の時にたくさんの意見が出て、それが分かりやすく集約してあって、みなさんのパワーに驚きました。自分は物理的なアイデアはなかなか考えるのが苦手なのですが、キャッチコピーを考えるのにみんながとってもうれしい町が浮かんで少しでも役に立てたのがうれしかったです。(Y.S)

**美東地域の新しい拠点づくりを考える
第3回 市民ワークショップを開催します！**

日時:令和2年 2月14日(金) 18:30~

会場:美東保健福祉センター 大ホール

**事前申込不要
誰でも参加OK!**

3回目からの参加も大歓迎!!

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第3回市民ワークショップの内容

- ・計画案の比較検討
- ・建設候補地の比較検討

お問い合わせ先

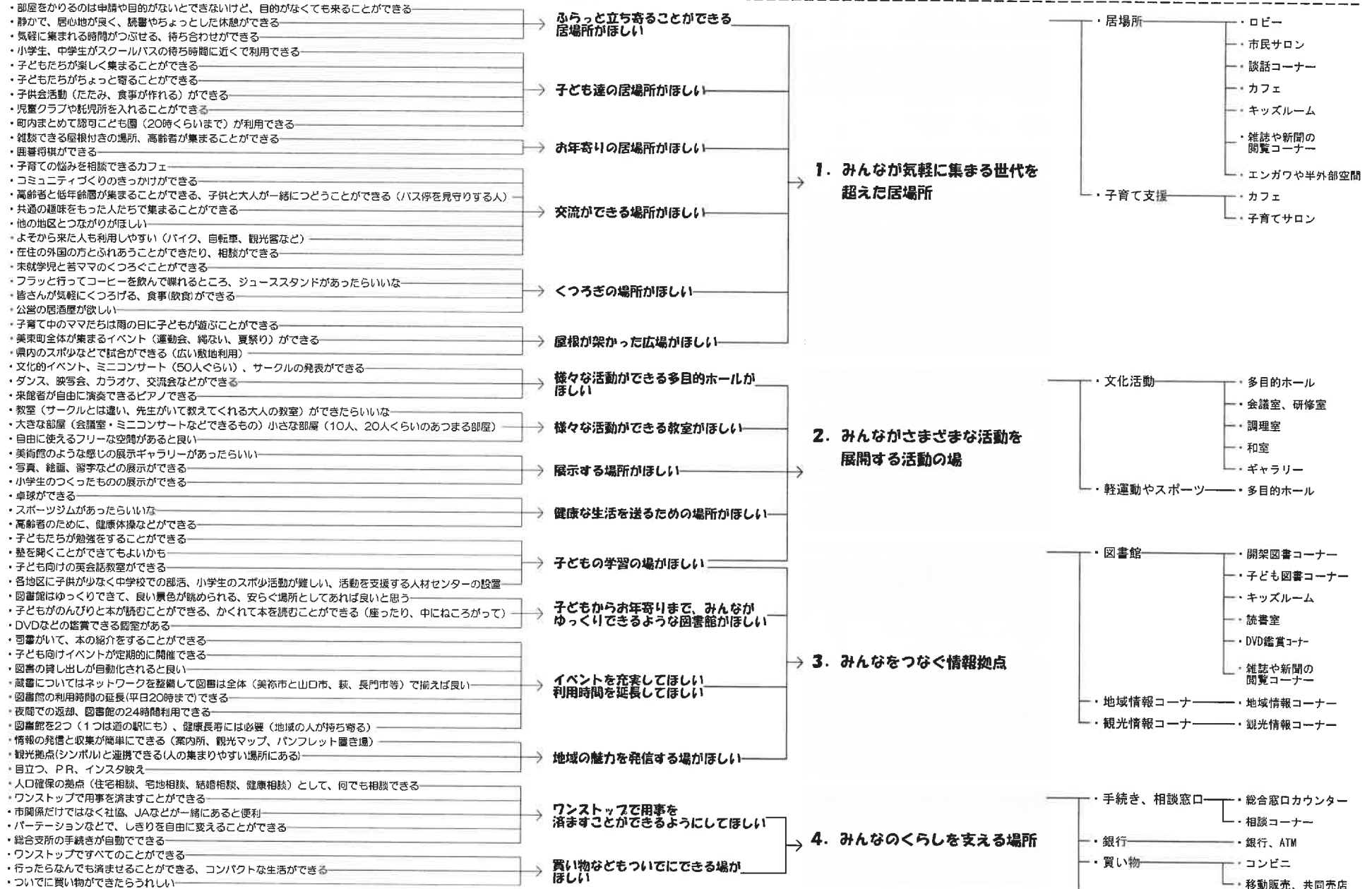
〒754-0291 美祿市美東町大田5936
美祿市美東総合支所 総合窓口課
 電話:08396-2-5000 fax:08396-2-5111
 メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
 基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)

第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめ-1

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいかについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

ワークショップで挙げた、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

「…だったらいいネ！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標 目標を実現するために必要な機能 必要な場所・空間



第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめ-2

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいかについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

ワークショップで挙がった、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

「…だったらいいネ！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標 目標を実現するために必要な機能



こんな施設はお断り！！

「こんな施設はお断り」についてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

- ・ 出入りが難しい施設、交通の便が悪いところ、近くに遊べる場所がない
- ・ 活気のない施設（人がいない施設）やお役所色の強いものとしての場所であってはならない
- ・ 意匠の貧しい建物
- ・ フリーなスペースがない、狭すぎる施設
- ・ 本を読んでいる、疲れたときに気分転換をできるような場所がない

⇒ 賑わいがなく、入りにくい、狭い施設はイヤだ！！

- ・ 視線が気になる、物が多くてごちゃごちゃしている、うるさいのはイヤ
- ・ マナーを守らない観光客はイヤ！！（外国語表記が必要）
- ・ 道の駅は大型バスがとまるためうるさい

⇒ ごちゃごちゃしている施設はイヤだ！！

- ・ いつもメンテナンスばかり必要になる建物
- ・ とにかく将来を考えて今の廃校の様にならないように

⇒ 将来のことを考えていない施設はイヤだ！！

- ・ 日光が入ってこない、入りにくい。暗い
- ・ 空調が効いていない

⇒ 暗くて、空調が効いていない施設はイヤだ！！

- ・ 災害に弱い
- ・ 避難所としての機能がある施設でないといや

⇒ 災害に弱い施設はイヤだ！！

施設づくりの目標と備えるべき4つの要素

必要な機能

必要な場所・空間

みんなが頼りにできるくらしの中心をつくる

→ 1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所

→ 2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場

→ 3. みんなをつなぐ情報拠点

→ 4. みんなのくらしを支える場所

・居場所

- ・ロビー
- ・市民サロン
- ・談話コーナー
- ・カフェ
- ・キッズスペース
- ・雑誌や新聞の閲覧コーナー
- ・エンガワや半外部空間

・子育て支援

- ・カフェ
- ・子育てサロン

・文化活動

- ・多目的ホール
- ・会議室、研修室
- ・調理室
- ・和室
- ・ギャラリー

・軽運動やスポーツ

- ・多目的ホール

・図書館

- ・開架図書コーナー
- ・子ども図書コーナー
- ・キッズルーム
- ・雑誌や新聞の閲覧コーナー
- ・読書室

・地域情報コーナー

- ・地域情報コーナー

・観光情報コーナー

- ・観光情報コーナー

・手続き、相談窓口

- ・総合窓口、カウンター
- ・相談コーナー

・銀行

- ・銀行、ATM

・買い物

- ・コンビニ
- ・移動販売、共同売店

・災害時の防災拠点

- ・避難所、備蓄倉庫

	①美東保健福祉センター付近	②道の駅みとう周辺	③大田中央バス停付近
建設候補地敷地図 (S=1:2500)			
用地取得	市有地のため用地取得の必要なし	◎ 民有地のため用地取得が必要	× 一部県有地のため用地取得の必要 ※計画内容によっては一部、民有地用地取得が必要
公共交通の利便性	バス停が遠い、公共交通機関が遠い	× 県道沿いに位置し、バス停が比較的近い	○ バスロータリーと一体的に計画することが可能
車での利便性	県道から離れた奥まった位置にあり、建物の位置が分かりにくい	△ 県道沿いのため、建物の位置が分かりやすい	○ 交差点に面するため、建物の位置が分かりやすい
徒歩での利便性	比較的周辺は車通りが少なく、安全に徒歩でアプローチできる	◎ 交通量の多い県道を渡らなければならないため、お年寄りには大変	△ 中通りに近く、安全に徒歩でアプローチできる
土砂災害特別警戒区域	一部あり（保健福祉センター玄関付近）	△ なし	◎ なし
洪水浸水区域	浸水区域に該当しないが、美東センターまで0.5m程度の洪水浸水区域となっている	○ 0.5m程度の洪水浸水区域となっている	× 0.5m程度の洪水浸水区域となっている
周辺施設との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中、保健福祉センターが利用できない ・保健福祉センターとの複合化が可能 ・周辺に保育園、小学校、中学校、美東体育館があり、教育エリアとして一体的に整備ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の進出の可能性がある ・道の駅やサイサイ美東が周辺にあるため、買物のついでに施設を利用することが可能 ・河川公園と一体的に整備することで、こどもの遊び場として活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得について検討が必要 ・美東交番との複合の可能性がある ・郵便局や銀行などが近くにあるため、施設のついで利用が可能 ・福祉センター、JA、美東病院などとの連携がしやすくなる



秋芳地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ便り

No.2

2020.1.27

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデア出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

活発な議論がはじまりました！

第2回市民ワークショップも多くの市民の参加があり、白熱した議論がはじまりました。

まず、市民ヒアリングや第1回市民ワークショップの成果を基にして、秋芳地域の新しい拠点が備えるべき要素等について、計画チームが整理したものを説明しました。その上で、それぞれに必要な場所や空間について抜けているものがないかなど、グループ毎に確認しました。

次のステップでは、色紙の大・中・小の円で示した必要な空間を、はさみで切り取り、相互の関係を考えながら計画図をつくりました。計画内容を示すキャッチコピー等をつけて全体で発表し、会場は大いに盛り上がりました。

また、建設位置についても、現実的な条件を整理し、最適な場所について議論しました。

次回は、今回のワークショップで皆さんに考えて頂いた空間の関係図を、具体的な空間に置き換えて行くとても面白い段階です。皆さんで知恵を絞りましょう！

3回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。



今回も多くの市民の皆さんに参加いただきました！

第2回市民ワークショップ(1/18) プログラム

- ステップ1 はじめに
- ステップ2 第2回市民ワークショップの目的と流れを説明
- ステップ3 第1回市民ワークショップの成果を確認
- ステップ4 第1回市民ワークショップの成果を基に計画チームが整理した、「新しい地域の拠点が備えるべき基本要素」について説明
ワークショップやヒアリングでの意見を紹介し、施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素、必要な場所・空間などについて確認しました。
- ステップ5 「必要な場所・空間」について相互の関係を考えながら、「空間の関係図」をつくる
ステップ4で確認した必要な場所・空間について、色紙で用意した空間カードを使って、空間相互の関係を考えながら、各グループで計画図をつくりました。
- ステップ6 まとめ

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/14(土)

- ・秋芳地域の魅力と抱える課題
- ・こんな複合施設だったらいいな！



◎秋芳中学校ワークショップ 1/17(金)

◎第2回ワークショップ 1/18(土)

- ・建設場所について
- ・必要な場所・空間の相互関係



◎第3回ワークショップ 2/15(土)

- ・公民館、図書館、総合支所が複合する魅力の作り方
- ・外部空間の作り方
- ・解体跡地の利用方法

次回開催



◎第4回ワークショップ 4/11(土)

- ・基本計画について説明
- ・パブリックコメントの実施
+住民説明会 5回実施



基本計画のとりまとめ



◎第5回ワークショップ

- ・配置、平面計画をみんなで考えよう
- ・内部と外部空間のイメージを考えよう



◎第6回ワークショップ

- ・平面計画、断面計画をみんなで確認
- ・建物の外観イメージを検討しよう
- ・建物の性能を比較しよう



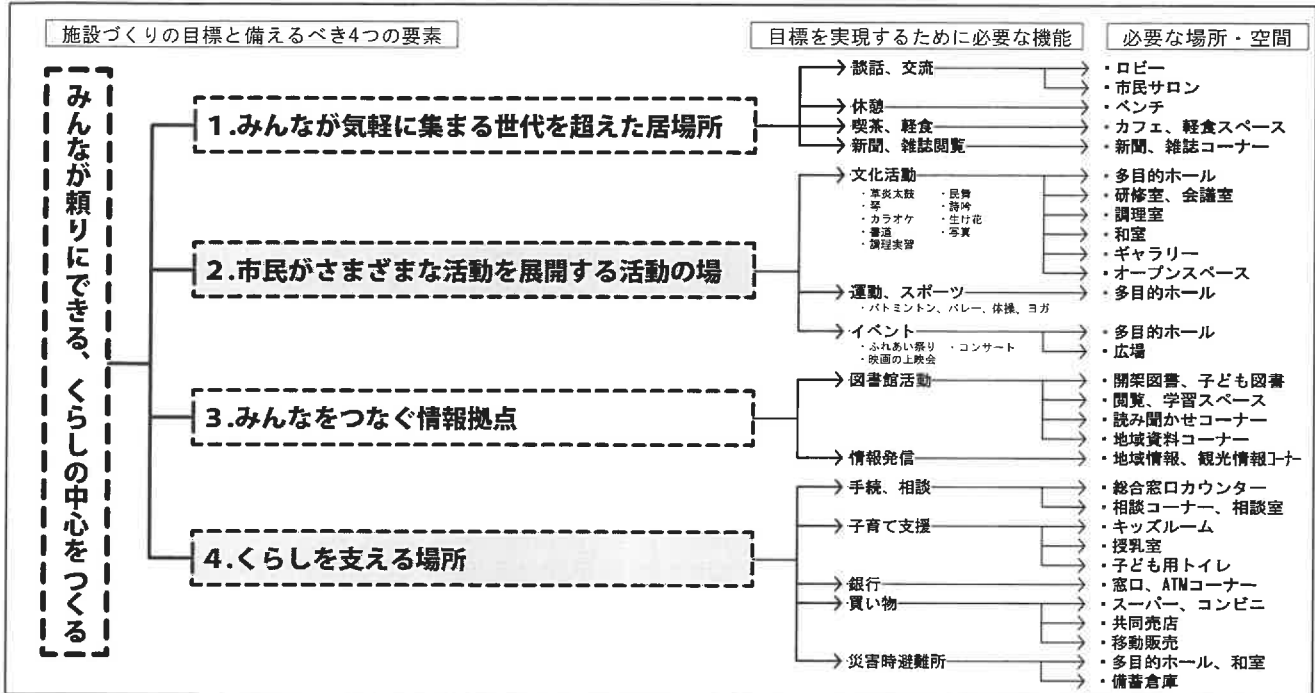
基本設計のとりまとめ



実施設計

新しい地域の拠点が備えるべき基本要素について、整理した内容を確認しました。

第1回市民ワークショップや、個別ヒアリングの中で出された意見を整理して、施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素、目標を実現するために必要な機能、そのために必要な場所・空間をまとめました。その内容を、第2回市民ワークショップの中で説明し、不足しているものがないかみんなで確認しました。

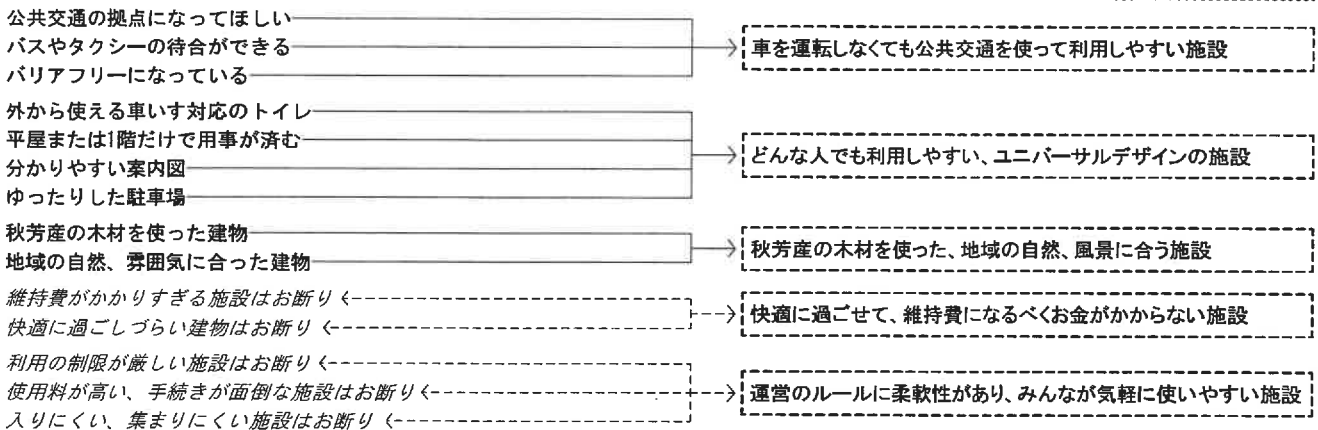


第1回市民ワークショップ、市民ヒアリングで出された意見を整理して、説明しました。

ワークショップやヒアリングで出された意見を整理して、施設づくりの目標となる要素にまとめたものを説明しました。ここではその一部を掲載しています。

ワークショップなどで挙がった、「新しい拠点が…だったらいいネ!」、「こんな施設はお断り!」についての意見の集約(一部)

「…だったらいいネ!」を実現するための、新しい地域の拠点づくりの目標となる要素



新しい拠点に必要な場所・空間を確認して、空間相互の関係を考えながら計画図をつきました!

まず、新しい拠点に必要な場所・空間について、各グループで確認してもらいました。その後、必要だと思う場所・空間を、それぞれの位置関係を考えながら並べて施設の計画図をつくり、全体の場で発表してもらいました!



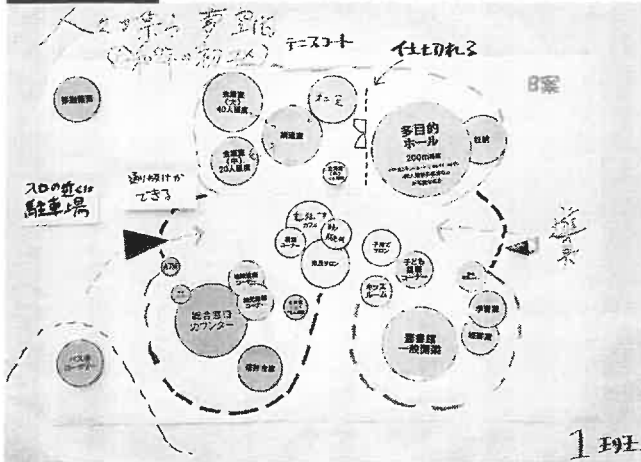
各グループで、新しい拠点に必要な場所・空間や、そのつながりについて、活発に意見を交わしながら作業を進めました。

色紙で用意された場所・空間の中から、必要だと思うものをハサミで切り取って、それぞれの位置関係を考えながら計画図をつきました

各グループでつくった計画図に、特徴を示すキャッチコピーをつけて、全体の場で発表しました。

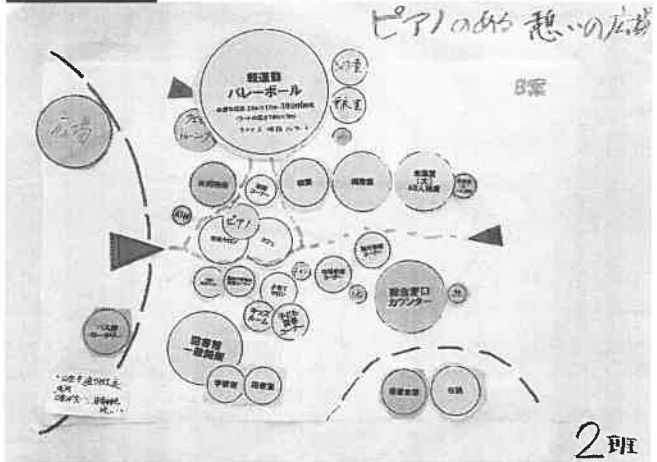
各グループで作った空間関係図と、それぞれの案に込められた想いを紹介します！

グループ1 人々が集う夢空間 (令和2年の初ユメ)



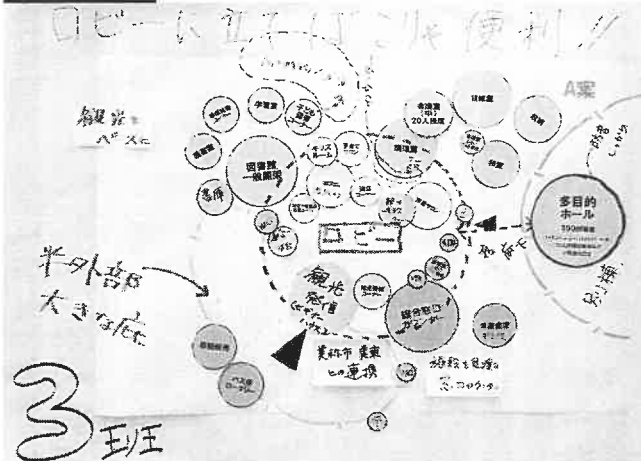
- 入口近くに支所、その奥に図書館をつくり、中央の通路を挟んでテニスコート側に公民館活動の場をつくる。
- 周辺に学校体育館があるので、大きな体育館はこれ以上つくらないが、多目的ホールは、100人程度の集いや、軽運動が出来る広さにする。
- 中央の通路にはセルフでお茶を飲めるカフェや市民サロンなどがあり、その近くに子育てサロンなどがある。
- 中央の通路を通り抜けた先に、子どもが遊べる場所がある。
- みんながここに集まって来やすく、大抵の用事はここで済むというような場所にしたい。

グループ2 ピアノのある憩いの広場



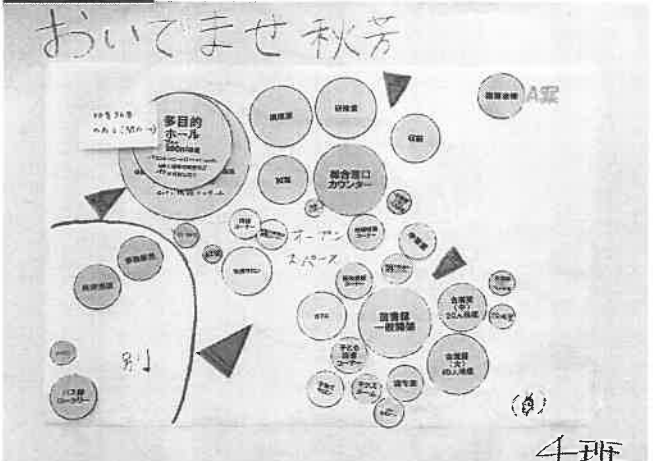
- コミュニティを大切にするには、人が集まれることが大事。
- 入口を入ってすぐの建物のメインに、市民サロンやカフェなどのみんなの憩いの広場があり、公民館機能、図書館機能がその周りに広がっている。
- バレーボール程度の運動ができる空間をつくり、その外部に広場を設け、天気によらず人が集まれるようにする。
- 運動ができる空間にトレーニング施設を併設し、健康づくりを推進して、みんなが元気になるような場所を目指す。更衣室、シャワー室も必要。
- 憩いの場所にピアノが欲しい。

グループ3 ロビーに立てば こりゃ便利!!



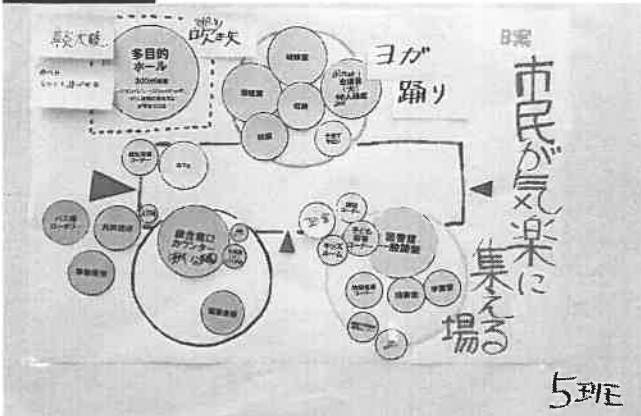
- 施設の中心のロビーに立てば、全部の機能が一目瞭然とわかるという構成。ロビーは市民が集う場として、多目的に。
- エントランスにはものすごく大きな庇を設け、バス停、郵便局、移動販売、屋外トイレなどの機能を隣接させる。
- 入口近くには観光情報と、受付を一箇所にまとめた窓口。
- 調理室はカウンター越しにロビーと繋がり、カフェにもなる。
- 多目的ホールは、天井が高くなることや防音などを考慮して別棟にして、その分、公民館と図書館を充実させる。
- 図書館の書庫、郷土資料を保管するスペースが必要。

グループ4 おいでませ秋芳



- おいでませ秋芳、というキャッチコピーが表すように、大事なのは誰でも来やすい建物であること。
- 入口を入ると、市民サロンや、カフェ、情報コーナーなどがあるオープンスペースになっていて、そこを歩いて行きたいところに行く。
- 移動販売、共同売店、コンビニなどの、買い物ができる施設は、建物とは別として考える。
- 屋内のトイレとは別に、休館日でも使える外からのトイレが必要。

グループ5 市民が気楽に集える場



- 多目的ホールは必要だが、一体で建てるとう面積が大きくなりすぎると思ったので、多目的ホールは別棟で考えた。
- メインエントランスの近くに、インフォメーション機能を併せた総合窓口(支所+公民館)をつくる。
- 小さい会議室があると面積が膨らむので、80人程度で利用できる大きな部屋を仕切って使い回しが出来るようにする。
- 図書館は、読書室やキッズコーナーなどを考えると、既存の床面積くらいは確保してほしい。
- 子育てサロンなどは保健センターの有効活用も考えてみてはどうか。

参加者の皆さんに考えてもらった5つの計画図は、計画チームが整理をして、次回のワークショップで具体的な空間に置き換えた計画素案について議論したいと思います！

建設場所について、現在の状況を説明し、議論を行いました！

新総合支所の建設場所について、(A)現在の総合支所、(B)現在の公民館および図書館、(C)現在の体育館、の3案を比較検討した内容をもとに、各グループで議論しました。体育館が老朽化していることや、旧耐震基準のままであることなどから、まず体育館を解体して、その跡地に新総合支所を建てる案が現実的であるとの評価が大勢を占めました。ただし、解体する体育館が担っている機能をどのように維持するのか、次回のワークショップで議論を深めていく必要があります。

	A案 総合支所の解体跡地に、新総合支所を建設する	B案 公民館と図書館の解体跡地に、新総合支所を建設する	C案 体育館の解体跡地に、新総合支所を建設する				
配置計画のイメージ							
施設整備の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合支所から仮施設への引越、既存総合支所の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設支所、既存公民館、既存図書館から新総合支所へ引越 4. 既存公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館、図書館から仮施設への引越、既存公民館、図書館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設公民館・図書館、既存総合支所から新総合支所へ引越 4. 既存総合支所の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既存体育館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 新総合支所完成後、既存総合支所、公民館、図書館から引越 4. 既存総合支所、公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 				
評価項目	評価	評価	評価				
安全性	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	敷地内のすべての建物が新耐震基準となる	◎	
利便性	駐車場	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	×	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	△	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できる	◎
経済性	仮設施設	総合支所機能を維持するために必要、費用大	×	公民館および図書館機能を維持するために必要、費用大	×	中学校体育館等を代替利用すれば不要	△
	引越し	整備期間中に総合支所の引越しが2度あり、負担大	×	整備期間中に公民館、図書館の引越しが2度あり、負担大	×	体育館の引越しは負担が少ない	○

参加者の感想カードの中から、一部を紹介します。

- 今までの意見が具体的に形になっていくのが見えてよかったです。他の班の意見もいろいろ聞けてよかったです。
- 一回目を欠席したのですが、二回目、とても楽しいひとときでした。これからの秋芳がすばらしい町に変わっていかればと思います。私がその一員だと思えるようにがんばりたいです。次にも出席します。
- 今回のワークショップで大分建設のイメージができてきた。より具体的な内容に入り、よい建物にしたい。
- グループで考えることでいろいろな発想が出てきたり考え方の違いもありますが、意見が反映され素晴らしいものが完成するといいなー。と思っています。早く設計図が見たい気持ちです。
- 行政の目線はあくまでも「コミュニティ」をいかに大事に作っていくかであり、建物作りの考え方、目線も同じ方向で考えなくてはと思うが、なかなか難しいことであると感じている。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える

第3回市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 2月15日(土) 14:00～16:30

会場：秋吉公民館 大会議室

3回目からの参加も大歓迎！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

事前申込不要
誰でも参加OK！

〇問い合わせ先

〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉5335-1
美祿市秋芳総合支所 総合窓口課
電話:0837-62-1910 fax:0837-62-1828
メール:s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)

市民WS便り発行：美祿市秋芳総合支所 総合窓口課

第3回市民ワークショップの主な内容

- ・公民館、図書館、総合支所が複合する魅力のつくり方
- ・外部空間のつくり方、解体跡地の利用方法

第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめー1

ワークショップで挙げた、新しい拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

「…だったらいいネ！」を実現するための、新しい地域の拠点づくりの目標

目標を実現するために必要な機能

必要な場所・空間

- ・高齢者、子どもが集まれる
- ・学生が集まれる
- ・大人が集まれる
- **みんなが集まれる**
- ・友達とおしゃべりができる
- ・娯楽(囲碁、健康麻雀など)ができて集まれる
- **おしゃべり、娯楽が楽しめる**
- ・軽食ができて、長く居られる
- ・ロビーなどで喫茶ができる
- ・気軽に集まれるカフェ的なスペース
- ・調理したもの、買ったものを横で食べられる
- **喫茶、軽食ができる**
- ・散歩中に、ちょっと休めるベンチ、あずまやがある
- ・くつろげて、散歩ができる公園
- **散歩の途中に休憩できる**

1.みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所

- 談話、交流 → ・ロビー
- 休憩 → ・市民サロン
- 喫茶、軽食 → ・ベンチ
- 新聞、雑誌閲覧 → ・カフェ、軽食スペース
- 新聞、雑誌閲覧 → ・新聞、雑誌コーナー

- ・地域(秋吉)の活動の練習ができる
- ・伝統芸能(草花太鼓)の練習場所、保管場所
- ・生け花展ができる
- ・50人程度が集まれて、踊りや歌の発表ができる
- **練習、発表ができる**
- ・民生委員(80人程度)が月一回会合で集まれる
- ・ふるさと祭りができるような空間がほしい
- ・映画の上映会やコンサートができる
- **イベントができる**
- ・体操や簡単なスポーツができる
- ・バレーやバドミントンなどができる
- ・地区対抗の運動会
- ・フィットネスクラブのような汗をかけるところ
- **運動、スポーツができる**
- ・多目的、柔軟に使える広いオープンスペース
- ・ギャラリーや、民間が入れるスペースなど、いろんな使い方ができる
- **多目的に使えるオープンスペースがある**

2.市民がさまざまな活動を展開する活動の場

- 文化活動 → ・多目的ホール
- 文化活動 → ・研修室、会議室
- 文化活動 → ・調理室
- 文化活動 → ・和室
- 文化活動 → ・ギャラリー
- 文化活動 → ・オープンスペース
- 運動、スポーツ → ・多目的ホール
- イベント → ・多目的ホール
- イベント → ・広場

- ・学習の場もあり、憩いの場もある図書館
- ・社会教育を学べる空間
- ・広い収納庫のある図書館
- ・本を読む、借りるだけじゃない、新しい図書館
- **図書館に学習の場、憩いの場がある**
- ・子どもが楽しめる図書館(一部で良い)
- ・図書館で子どもの待ち合わせ(一時見守り)
- **図書館で子どもと一緒に楽しめる**
- ・観光+情報の発信、カルストの湯、秋吉洞、ジオパーク
- ・洞窟探検隊…450カ所以上ある洞窟を紹介する
- ・ジオガイド
- ・地域おこし協力隊の事務所
- ・楽しく、情報交換(個人の知識を活かせる)が出来る
- ・インターネットを活かした町外への情報発信
- **地域の情報、観光情報を発信できる**

3.みんなをつなぐ情報拠点

- 図書館活動 → ・開架図書、子ども図書
- 図書館活動 → ・閲覧、学習スペース
- 図書館活動 → ・読み聞かせコーナー
- 図書館活動 → ・地域資料コーナー
- 情報発信 → ・地域情報、観光情報コーナー

- ・星がきれいなので天体観測ができる会場
- ・バイク好きな人が泊まれる
- ・自転車、トレイルランナーのエイドステーション
- ・一晩中ワイワイ騒いでもよいところ
- ・足湯
- ・ジビエ、加工所(イノシシ、シカ、クマ)
- ・厚東川流域水族館
- **外から来た人も、地域の人も楽しめる**

- ・どこで相談したらいいかが分かりやすい窓口
- ・憩いの場と窓口が一緒になっている
- ・落ち着いた相談ができる
- **窓口がわかりやすい**
- ・落ち着いた相談ができる
- **落ち着いた相談ができる**
- ・屋内で子どもが遊べるスペース、キッズルーム
- ・一時的に子どもを見てもらえる仕組み
- ・授乳室、幼児用トイレをちゃんと整備してほしい
- **子育て世代が気楽に立ち寄れる**
- ・買い物、貯金、郵便など、一ヶ所で日常の用事が済ませられる
- ・土地の一部で良いので、民間の利用が可能になる箇所
- ・スーパー、コンビニ、ドラッグストア等の併設
- ・道の駅の併設
- **一度にいろんな用事を済ませられる**
- ・洪水に耐えられる
- ・地震に耐えられる
- ・体育館(コミュニティホール)、災害避難の男女別の空間
- **災害のときに頼りになる**

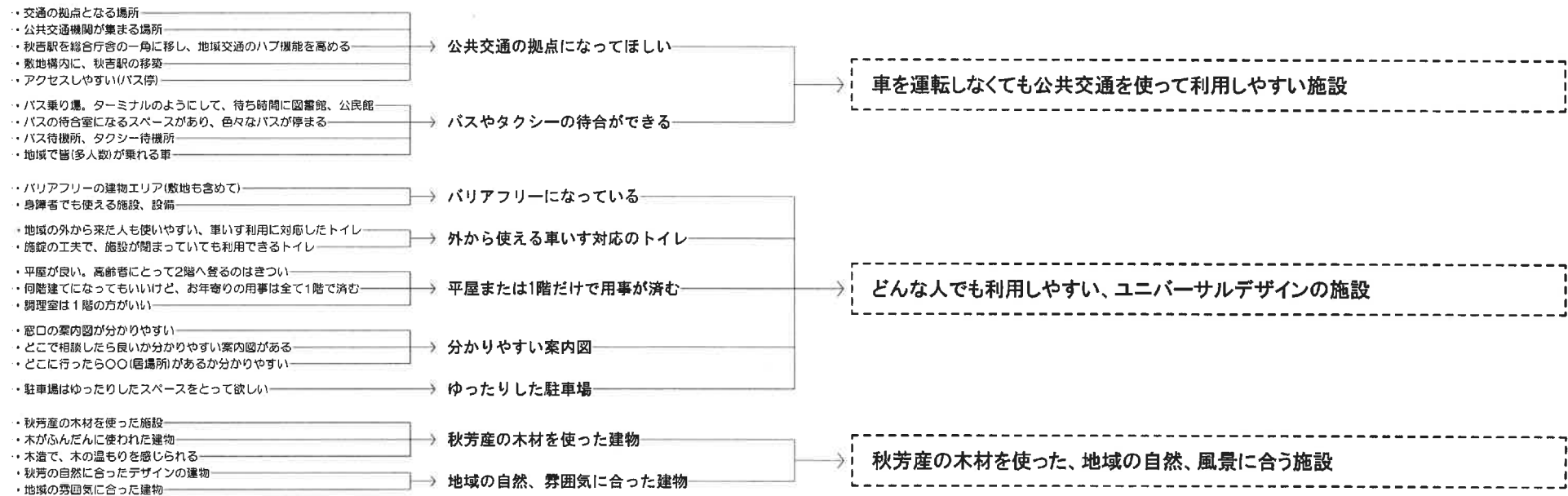
4.暮らしを支える場所

- 手続き、相談 → ・総合窓口カウンター
- 手続き、相談 → ・相談コーナー
- 子育て支援 → ・キッズルーム
- 子育て支援 → ・授乳室
- 子育て支援 → ・子ども用トイレ
- 銀行 → ・窓口、キャッシュコーナー
- 買い物 → ・スーパー、コンビニ
- 買い物 → ・共同売店
- 買い物 → ・移動販売
- 災害時避難所 → ・多目的ホール、和室
- 災害時避難所 → ・備蓄倉庫

第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめー2

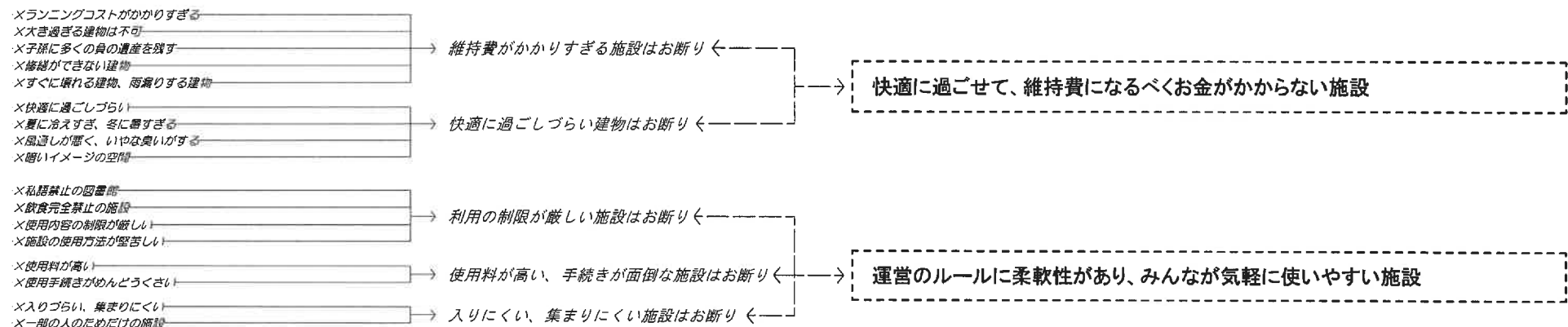
ワークショップで挙げた、新しい拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

新しい地域の拠点づくりの目標



ワークショップで挙げた、「こんな地域の拠点はお断り！」についての意見

新しい地域の拠点づくりの目標



施設づくりの目標と備えるべき4つの要素

目標を実現するために必要な機能

必要な場所・空間

みんなが頼りにできる、くらしの中心をつくる

1.みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所

- 談話、交流 → ・ロビー
- 談話、交流 → ・市民サロン
- 休憩 → ・ベンチ
- 喫茶、軽食 → ・カフェ、軽食スペース
- 新聞、雑誌閲覧 → ・新聞、雑誌コーナー

2.市民がさまざまな活動を展開する活動の場

- 文化活動 → ・多目的ホール
- 文化活動 → ・研修室、会議室
- 文化活動 → ・調理室
- 文化活動 → ・和室
- 文化活動 → ・ギャラリー
- 文化活動 → ・オープンスペース
- 運動、スポーツ → ・多目的ホール
- イベント → ・多目的ホール
- イベント → ・広場

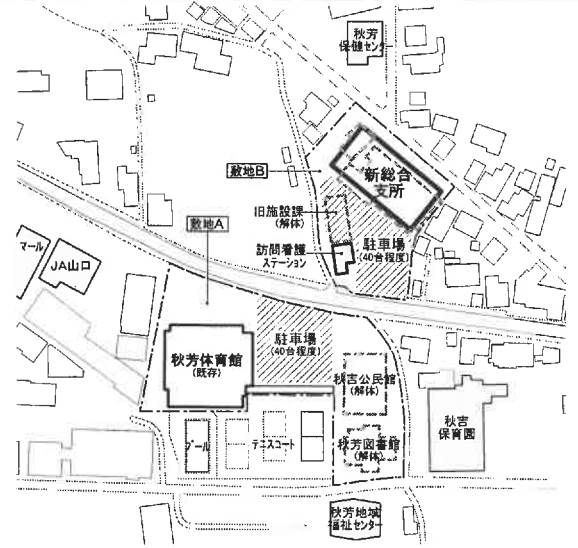
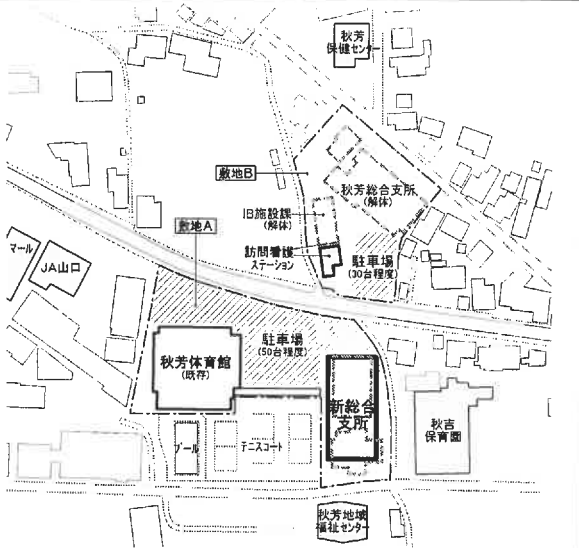
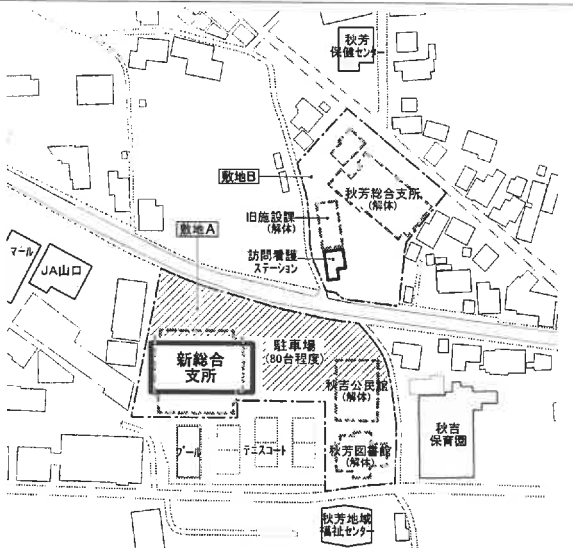
3.みんなをつなぐ情報拠点

- 図書館活動 → ・開架図書、子ども図書
- 図書館活動 → ・閲覧、学習スペース
- 図書館活動 → ・読み聞かせコーナー
- 図書館活動 → ・地域資料コーナー
- 情報発信 → ・地域情報、観光情報コーナー

4.くらしを支える場所

- 手続、相談 → ・総合窓口カウンター
- 手続、相談 → ・相談コーナー、相談室
- 子育て支援 → ・キッズルーム
- 子育て支援 → ・授乳室
- 子育て支援 → ・子ども用トイレ
- 銀行 → ・窓口、ATMコーナー
- 買い物 → ・スーパー、コンビニ
- 買い物 → ・共同売店
- 買い物 → ・移動販売
- 災害時避難所 → ・多目的ホール、和室
- 災害時避難所 → ・備蓄倉庫

建設場所の比較検討

		A案 総合支所の解体跡地に、新総合支所を建設する		B案 公民館と図書館の解体跡地に、新総合支所を建設する		C案 体育館の解体跡地に、新総合支所を建設する		
配置計画のイメージ								
施設整備の手順		<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合支所から仮設施設への引越、既存総合支所の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設支所、既存公民館、既存図書館から新総合支所へ引越 4. 既存公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民館、図書館から仮設施設への引越、既存公民館、図書館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設公民館・図書館、既存総合支所から新総合支所へ引越 4. 既存総合支所の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 		<ol style="list-style-type: none"> 1. 既存体育館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 新総合支所完成後、既存総合支所、公民館、図書館から引越 4. 既存総合支所、公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成 		
評価項目		評価		評価		評価		
安全性		老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	敷地内のすべての建物が新耐震基準となる	◎	
利便性		駐車場	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	×	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	△	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できる	◎
経済性		仮設施設	総合支所機能を維持するために必要、費用大	×	公民館および図書館機能を維持するために必要、費用大	×	中学校体育館等を代替利用すれば不要 <small>(秋芳体育館は、旧耐震基準であること、雨漏りがあることなどから、現状の利用は少ないため、中学校体育館等で代替利用が可能であると考えられる)</small>	△
		引越シ	整備期間中に総合支所の引越しが2度あり、負担大	×	整備期間中に公民館、図書館の引越しが2度あり、負担大	×	体育館の引越しは負担が少ない	○



比較検討結果： 秋芳体育館を解体し、その跡地に新総合支所を建設することが安全性、利便性、経済性の面で最も優れている。